



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月29日

上場会社名 味の素株式会社

(コード番号: 2802 東大名福札)

(URL <http://www.ajinomoto.co.jp/>)

代表者役職名 取締役社長 氏名 山口 範雄

問合せ先責任者役職名 財務部長 氏名 大野 弘道

TEL: (03) 5250 - 8161

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

1. 法人税等の計上方法: 見積実効税率を適用

2. 貸倒引当金の計上方法: 一部簡便法を適用

② 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結 (新規) 3社 (除外) - 持分法 (新規) - (除外) 1社

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況 (平成17年4月1日 ~ 平成17年6月30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	261,454	7,611	8,614	3,459
17年3月期第1四半期	264,677	19,180	20,267	13,016
(参考) 17年3月期	1,073,010	70,916	72,199	44,817

	1株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	5.36	-
17年3月期第1四半期	20.08	-
(参考) 17年3月期	68.79	-

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	886,946	469,207	52.9	724.01
17年3月期第1四半期	883,304	437,024	49.5	674.01
(参考) 17年3月期	903,542	467,297	51.7	720.64

3. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 100社 持分法適用非連結子会社数 4社 持分法適用関連会社数 13社

【参考】平成18年3月期中間期の連結業績予想 (平成17年4月1日 ~ 平成17年9月30日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	545,000	20,000	11,500	17.74

※経営成績等の定性的情報については、2~3ページをご参照ください。

1. 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報

当第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）の売上高は、飼料用リジンの販売価格下落や昨年7月の㈱J-オイルミルズの合併による発売元製品の変更による売上げ減少等により、前年同期を32億円下回り、2,614億円（前年同期比98.8%）となりました。利益面では、飼料用リジンの販売価格下落、国内外における主要製品の原料価格上昇等の影響を受け、営業利益、経常利益および四半期純利益は、それぞれ76億円（前年同期比39.7%）、86億円（前年同期比42.5%）、34億円（前年同期比26.6%）となりました。

〈国内食品事業〉

国内食品事業の売上高は、前年同期を10億円下回る1,489億円（前年同期比99.3%）、営業利益は前年同期を4億円下回る40億円（前年同期比89.1%）となりました。

食品業界におきましては、スーパーマーケットの売上げが回復基調にあるとはいえ依然厳しい状況が続いております。こうした中で主要製品の需要喚起のための施策を実施し、販売の拡大に努めました。

調味料につきましては、「ほんだし」は、マーケットシェアを着実に上げましたが、市場の縮小により前年同期を下回る売上げとなりました。「味の素」は、5月からの「アジパンダ」キャンペーンの効果により、前年同期を上回る売上げとなりました。蛋白質改質酵素（トランスグルタミナーゼ）「アクティバ」は、食肉加工分野等で好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。

加工食品につきましては、スープ類は、市場の堅調な伸びにより、前年同期を上回る売上げとなりました。マヨネーズ類は、市場の総需要が伸び悩む中、特定保健用食品「ピュアセレクト サラリア」が順調に市場へ浸透し、また、「ピュアセレクト マヨネーズ」も引続き伸長し、前年同期を上回りました。「Cook Do（クック ドゥ）」は、他社の新規参入の影響もありましたが、前年同期並みの売上げとなりました。

甘味料・栄養食品につきましては、アミノ酸サプリメント「アミノバイタル」は、前年同期を下回りました。家庭用・外食市場向けのアミノ酸系甘味料は、「パルスweet」、「パルスweet カロリーゼロ」が好調に推移し、大きく売上げを伸ばしました。

冷凍食品につきましては、家庭用は、広告に連動した販促活動により、今春製品改訂した「ギョーザ」が大きく売上げを伸ばしました。新製品「お弁当若鶏ももから揚げ」、「具だくさん五目炒飯」も売上げ増に貢献し、全体として、前年同期を上回る売上げを達成しました。業務用は、主要領域への販売集中を進め、収益構造改善に一定の成果を挙げましたが、売上げは前年同期を下回りました。

油脂につきましては、昨年7月の㈱J-オイルミルズによる味の素製油㈱、㈱ホーネンコーポレーション、吉原製油㈱等の吸収合併を契機に、当社は、㈱J-オイルミルズの家庭用製品の発売元となり、業務用は、味の素ブランド製品を含む油脂製品およびミール類につき、一部を除き、㈱J-オイルミルズが販売することとなりました。このため、当社の家庭用の売上げは増加し、業務用の売上げは減少しました。

コーヒー類につきましては、インスタントコーヒー、レギュラーコーヒー、液体コーヒーのいずれも順調に推移しました。

飲料につきましては、「カルピスウォーター」、「エビアン」等は好調だったものの、「アミールS」、「健茶王」等の健康機能性飲料の販売不振により、前年実績を確保するにとどまりました。

チルド乳製品につきましては、「ダノン フルーツセレクション」や「ベビーダノン」の好調により、堅調に推移しました。

〈海外食品事業〉

海外食品事業の売上高は、前年同期を38億円上回る222億円（前年同期比121.2%）、営業利益は、前年同期を3億円下回る5億円（前年同期比63.0%）となりました。

調味料につきましては、「味の素」はタイ、ベトナム、西アフリカ諸国の販売が好調で、フィリピン、中国、ペルーなどで堅調に推移しました。風味調味料はタイの「ROSDEE」、フィリピンの「GINISA」が好調に推移し、全体でも引き続き売上げを伸ばしました。

加工食品につきましては、飲料は缶コーヒー「Birdy」が引き続き売上げを伸ばしました。即席麺も売上げを伸ばしました。

〈アミノ酸事業〉

アミノ酸事業の売上高は、前年同期を35億円下回る600億円（前年同期比94.4%）、営業利益は、前年同期を95億円下回る30億円（前年同期比24.2%）となりました。

加工用うま味調味料につきましては、「味の素」は、大手需要家向けを中心とする国内販売の堅調な推移、および海外販売の各地での好調な推移により、前年同期を上回る売上げとなりました。核酸も前年同期を上回りました。

飼料用アミノ酸につきましては、スレオニンが前年同期を上回る実績をあげたものの、中国メーカーによる供給急増によるリジンの販売価格下落の影響を受け、前年同期を大幅に下回る売上げとなりました。

医薬用・食品用アミノ酸につきましては、欧米における医薬用途の販売が順調に推移したものの、国内における飲料用途の不振により、全体としては前年同期を下回る売上げとなりました。

甘味料につきましては、大手需要家向けが堅調に推移し、前年同期を上回る売上げとなりました。

医薬中間体につきましては、欧州における販売が堅調に推移し、前年同期並みの売上げとなりました。

化成品につきましては、アミノ酸化化粧品「ジーノ」は売上げを伸ばしました。電子材料は、MPU基盤用の層間絶縁フィルムが売上げを大きく伸ばし、好調に推移しました。化粧品素材は、国内販売が大きく伸びましたが海外向けが苦戦し、ほぼ前年同期並みの売上げとなりました。

〈医薬事業〉

医薬事業の売上高は、前年同期を13億円下回る161億円（前年同期比92.1%）、営業利益は、前年同期を8億円下回る10億円（前年同期比57.6%）となりました。

カルシウム拮抗降圧剤「アテレック」、糖尿病用治療薬「ファスティック」および骨粗鬆症治療剤「アクトネル」は順調に売上げを伸ばしましたが、高カロリー輸液「ピーエヌツイン」および電解質輸液「ソリタ」等の輸液類が苦戦し、全体として前年同期の売上げを下回りました。

〈その他〉

その他の事業の売上高は、前年同期を11億円下回る140億円（前年同期比92.7%）、営業利益は、前年同期を3億円下回る6億円（前年同期比66.4%）となりました。

2. 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、未払法人税等の支払い等に伴う現金の減少により、前連結会計年度末に比べ165億円減少し、8,869億円となりました。株主資本につきましては、前連結会計年度末に比べ19億円増加し、4,692億円となりました。この結果、株主資本比率は、前連結会計年度末の51.7%から52.9%となりました。

【参考】業績予想に関する定性的情報等

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月13日の決算発表時に公表した平成18年3月期中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）の業績予想を下記の通り修正いたします。

連結中間業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成17年5月13日発表）	百万円 550,000	百万円 28,000	百万円 28,000	百万円 15,000
今回修正予想（B）	545,000	20,000	20,000	11,500
増減額（B）－（A）	△5,000	△8,000	△8,000	△3,500
増減率（%）	△0.9%	△28.6%	△28.6%	△23.3%
（ご参考） 前期（平成16年9月中間期実績）	545,633	36,215	37,647	22,073

（修正の理由）

当中間期の業績予想に関しまして、売上高は、主に飼料用アミノ酸事業における競合他社供給急増によるリジンの販売価格下落による影響により、前回発表予想を50億円下回り、5,450億円となる見通しです。営業利益および経常利益は、上記に加え、国内外における主要製品の原料価格高騰や、原油価格上昇を、コストダウンや製品価格への転嫁でカバーしきれず、前回発表予想をいずれも80億円下回りそれぞれ200億円となる見通しです。以上により、中間純利益は、前回発表予想を35億円下回り115億円となる見通しです。

なお、平成18年3月期通期の業績見通しにつきましては、現在策定中であり、策定終了後に公表する予定です。

（注）記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があります。

四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

区 分	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)		平成18年3月期 第1四半期 (平成17年6月30日現在)		増減	平成17年3月期 第1四半期 (平成16年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
資産の部		%		%			%
I 流動資産	414,415	45.9	394,200	44.4	△20,215	387,441	43.9
現金及び預金	93,929		71,773		△22,156	67,182	
受取手形及び売掛金	188,010		184,981		△3,028	184,718	
有価証券	1,285		799		△485	1,929	
たな卸資産	97,459		102,285		4,825	97,249	
繰延税金資産	10,313		10,082		△230	8,272	
その他	24,212		25,062		849	28,902	
貸倒引当金	△795		△784		10	△814	
II 固定資産	489,126	54.1	492,745	55.6	3,619	495,862	56.1
1. 有形固定資産	302,458	33.5	309,208	34.9	6,749	295,911	33.5
建物及び構築物	252,206		258,472		6,266	239,846	
機械装置及び運搬具	425,227		431,747		6,519	407,326	
その他	48,656		49,419		762	46,352	
減価償却累計額	△500,050		△509,612		△9,561	△479,866	
土地	57,861		58,222		361	62,880	
建設仮勘定	18,557		20,958		2,401	19,372	
2. 無形固定資産	45,421	5.0	43,715	4.9	△1,705	48,079	5.4
連結調整勘定	27,152		26,083		△1,068	30,681	
その他	18,268		17,632		△636	17,398	
3. 投資その他の資産	141,246	15.6	139,821	15.8	△1,425	151,871	17.2
投資有価証券	119,661		117,740		△1,920	123,587	
長期貸付金	247		260		12	441	
繰延税金資産	13,042		13,957		915	18,455	
その他	10,721		9,363		△1,357	11,103	
貸倒引当金	△2,426		△1,501		925	△1,716	
資産合計	903,542	100.0	886,946	100.0	△16,595	883,304	100.0

(百万円未満切捨て)

区 分	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)		平成18年3月期 第1四半期 (平成17年6月30日現在)		増減	平成17年3月期 第1四半期 (平成16年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
負債の部		%		%			%
I 流動負債	230,810	25.6	211,318	23.8	△19,492	230,101	26.0
支払手形及び買掛金	109,140		112,570		3,429	116,993	
短期借入金	24,305		24,807		501	38,796	
コマーシャルペーパー	—		—		—	5,000	
1年以内返済予定長期借入金	764		774		10	1,313	
1年以内償還予定社債	10,000		10,000		—	—	
未払法人税等	16,584		6,384		△10,200	11,523	
賞与引当金	3,406		3,046		△360	3,785	
その他	66,608		53,734		△12,873	52,689	
II 固定負債	180,726	20.0	178,988	20.2	△1,737	193,122	21.9
社債	85,000		85,000		—	95,000	
長期借入金	5,533		5,463		△70	6,032	
繰延税金負債	2,252		2,084		△167	2,025	
退職給付引当金	63,275		61,916		△1,358	67,755	
役員退職慰労引当金	1,860		1,341		△518	1,552	
その他	22,804		23,182		378	20,757	
負債合計	411,537	45.6	390,307	44.0	△21,229	423,223	47.9
少数株主持分							
少数株主持分	24,707	2.7	27,431	3.1	2,724	23,055	2.6
資本の部							
I 資本金	79,863	8.8	79,863	9.0	—	79,863	9.0
II 資本剰余金	111,579	12.3	111,579	12.6	△0	111,579	12.6
III 利益剰余金	315,981	35.0	314,637	35.5	△1,344	288,413	32.7
IV その他有価証券評価差額金	9,239	1.0	8,371	0.9	△868	12,170	1.4
V 為替換算調整勘定	△47,116	△5.2	△42,926	△4.8	4,189	△53,061	△6.0
VI 自己株式	△2,250	△0.2	△2,318	△0.3	△67	△1,940	△0.2
資本合計	467,297	51.7	469,207	52.9	1,909	437,024	49.5
負債、少数株主持分及び資本合計	903,542	100.0	886,946	100.0	△16,595	883,304	100.0

四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

区 分	平成17年3月期 第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		平成18年3月期 第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		増減	平成17年3月期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売上高	264,677	100.0	261,454	100.0	△3,223	1,073,010	100.0
II 売上原価	189,105	71.4	193,400	74.0	4,295	760,554	70.9
売上総利益	75,572	28.6	68,053	26.0	△7,518	312,455	29.1
III 販売費及び一般管理費	56,391	21.3	60,442	23.1	4,050	241,538	22.5
営業利益	19,180	7.2	7,611	2.9	△11,568	70,916	6.6
IV 営業外収益	2,780	1.1	3,075	1.2	295	9,975	0.9
受取利息	474		276		△198	1,873	
受取配当金	275		346		71	664	
持分法による投資利益	737		1,082		344	3,263	
その他	1,293		1,369		76	4,174	
V 営業外費用	1,694	0.6	2,073	0.8	379	8,692	0.8
支払利息	684		928		243	3,020	
その他	1,009		1,145		135	5,672	
経常利益	20,267	7.7	8,614	3.3	△11,653	72,199	6.7
VI 特別利益	3,623	1.4	1,286	0.5	△2,336	24,694	2.3
固定資産売却益	517		23		△494	12,183	
投資有価証券売却益	2,716		1,014		△1,701	6,860	
関係会社株式売却益	—		—		—	4,341	
その他	389		248		△141	1,308	
VII 特別損失	610	0.2	654	0.3	43	15,155	1.4
固定資産除却損	294		322		28	2,604	
減損損失	—		—		—	6,075	
投資有価証券評価損	—		—		—	104	
和解金	—		—		—	2,048	
退職給付費用	—		—		—	312	
その他	316		331		15	4,010	
税金等調整前四半期(当期)純利益	23,280	8.8	9,246	3.5	△14,033	81,737	7.6
法人税等	9,268	3.5	4,805	1.8	△4,463	34,340	3.2
少数株主利益	995	0.4	982	0.4	△13	2,580	0.2
四半期(当期)純利益	13,016	4.9	3,459	1.3	△9,557	44,817	4.2

事業の種類別セグメント情報

平成17年3月期第1四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（百万円未満切捨て）

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医 薬	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	149,741	37,378	44,866	17,526	15,164	264,677	—	264,677
(2) セグメント間の内 部売上高	512	2,746	5,439	13	12,955	21,667	(21,667)	—
計	150,253	40,125	50,306	17,540	28,119	286,345	(21,667)	264,677
営業費用	145,303	38,507	38,595	15,646	27,109	265,162	(19,665)	245,496
営業利益	4,949	1,617	11,710	1,894	1,010	21,182	(2,001)	19,180

（注）1. 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

（注）2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ、マヨネーズ、「パルスweet」（国内分）、「アミノバイタル」、「味液」、冷凍食品、コーヒー、国内飲料、乳製品、国内食品流通等
海外食品	「味の素」類、核酸類、海外即席麺、海外飲料、海外サービス他
アミノ酸	各種アミノ酸、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

平成18年3月期第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（百万円未満切捨て）

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医 薬	その他	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	148,940	22,252	60,061	16,145	14,054	261,454	—	261,454
(2) セグメント間の内 部売上高	731	333	6,068	22	12,692	19,849	(19,849)	—
計	149,672	22,585	66,130	16,168	26,746	281,304	(19,849)	261,454
営業費用	145,637	22,019	63,069	15,077	26,076	271,880	(18,037)	253,843
営業利益	4,034	566	3,060	1,091	670	9,423	(1,811)	7,611

（注）1. 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

（注）2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスweet」、 弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、 チルド乳製品等
海外食品	「味の素」、風味調味料、即席麺、飲料等
アミノ酸	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料、飼料用アミノ酸、医薬用・食品用アミノ酸、 医薬中間体、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

（注）3. 各事業区分に属する製品の変更

当連結会計年度において、当社は当社グループの新たな中長期経営計画に向けて、カンパニー制の再編を行いました。これに伴い、当社グループの事業内容の実態をより適切に表示するために各事業区分に属する製品を見直し、以下のとおり変更しました。

- ・「国内食品」に含めていた親会社輸出食品を「海外食品」に変更。
- ・「海外食品」に含めていた冷凍食品事業の一部を「国内食品」に変更。
- ・「海外食品」に含めていた加工用うま味調味料、海外「アミノバイタル」を「アミノ酸」に変更。
- ・「海外食品」に含めていた海外法人のその他事業の一部を「アミノ酸」に変更。
- ・「全社」に含めていた健康事業の事業化プロジェクトを、健康事業として立ち上げ「国内食品」に変更。

なお、前連結会計年度のセグメント情報を当連結会計年度において用いた各事業区分に属する製品により区分したものは、当（注）書きの後に記載しております。

(各事業区分に属する製品の変更後)

平成17年3月期第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医 薬	その他	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	150,009	18,365	63,612	17,526	15,164	264,677	—	264,677
(2) セグメント間の内 部売上高	279	815	6,062	13	12,955	20,126	(20,126)	—
計	150,288	19,180	69,675	17,540	28,119	284,804	(20,126)	264,677
営業費用	145,758	18,280	57,026	15,646	27,109	263,822	(18,325)	245,496
営業利益	4,529	899	12,648	1,894	1,010	20,982	(1,801)	19,180

(注) 1. 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

(注) 2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスweet」、 弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、 チルド乳製品等
海外食品	「味の素」、風味調味料、即席麺、飲料等
アミノ酸	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料、飼料用アミノ酸、医薬用・食品用アミノ酸、 医薬中間体、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他